

米社から販売権

核酸試薬

ジーンデザインライセンズ契約

創薬支援などのジーンデザイン(大阪府茨木市、湯山和彦社長)は米バイオベンチャー、アルナイラム・ファーマシューティカルズ(マサチューセッツ州)と核酸試薬を製造販売するライセンス契約を結んだ。体内の遺伝子の働きを調整できる「RNA(リボ核酸)干渉」と呼ぶ現象を応用する試薬の一種で、国内の研究開発の促進につながる。

遺伝をつかさどるDNA(デオキシリボ核酸)

やRNAを総称して核酸と呼ぶ。RNA干渉は体内で起きる現象の一つで、小さな核酸「siRNA」が遺伝子の働きを抑える。応用すれば病気を引き起こす遺伝子の作用を打ち消す新しい種類の薬が作れるようになる。期待され、二〇〇六年のノーベル生理学医学賞受賞のテーマになった。今回ジーンデザインがアルナイラムから獲得したのは、哺乳(ほにゅう)類の細胞で働く、人工的に合成したsiRNA試薬の製造販売権。ジーンデザインは核酸試薬類の提供をしており、今回の製造販売権獲得で提供できるバリエーションを増やせる。

採用支援サービスの就活カレッジ(東京・港、遠藤彰二社長)は二十日、ベンチャー・中小企業向けに学生を直接スカウトできるサイトを立ち上げ

アルナイラムはRNA干渉を応用した創薬を手掛ける。RNA干渉にかかわった研究者らによって二〇〇二年に設立された。これまでアルナイラムと業務提携して創薬に着手する国内企業はあったが、製造販売権の獲得は初めてという。

学生スカウトのサ

就活カレッジ VB向けのサ

円。定無駄なくない中必要な「就

るの企ンえを無康母代子